

令和 7 年 12 月 15 日

第6回「アツギ甲子園」中国・四国ブロック大会の出場者が決定しました

中小企業・小規模事業者の後継者が既存の経営資源を活かした新規事業アイデアを競うピッチイベント「アツギ甲子園」において、中国・四国ブロック大会に出場する15名（四国管内から7名）が決定しました。

1. 概要

中小企業・小規模事業者の後継者が既存の経営資源を活かした新規事業アイデアを競うピッチイベント「アツギ甲子園」について、エントリー者の中から書類審査を行った結果、中国・四国ブロック大会に出場する15名（四国管内から7名）が決定しました。

地方大会は北海道・東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州・沖縄の6ブロックで開催し、各ブロックの上位3名のうち1名に経済産業局長賞、2名に地方大会優秀賞が授与されます。また、各ブロックの上位3名は来年2月に東京で開催される決勝大会に進出します。

2. 第6回「アツギ甲子園」中国・四国ブロック大会について

日時：令和8年1月16日（金曜日） 13:00～18:00（予定）

会場：KURUN HALL（岡山県岡山市）

（中国・四国ブロック出場者一覧）



※各ブロックは現地観戦と YouTube 配信オンラインで開催予定です。下記 QR コードより事前にお申し込みください。（ブロックごとに事前申し込みの締め切りが異なりますのでご注意ください。）

（申し込み）



※他の地方大会の情報はこちらをご覧ください。

第6回「アツギ甲子園」地方大会出場者が決定(中小企業庁ウェブサイト)



3. 「アツギ甲子園」に関するお問合せ先

第6回「アツギ甲子園」運営事務局

MAIL: info@atotsugi-koshien.go.jp

(本発表資料のお問い合わせ先)

四国経済産業局産業部中小企業課長 菅原

担当者： 三谷、國村

電 話： 0 8 7－8 1 1－8 5 2 9 (直通)

U R L： <https://www.shikoku.meti.go.jp/>

※本発表資料以外のお問い合わせは総務課広報担当（087-811-8505）にお願いします。

第6回「アトツギ甲子園」

一般観覧募集中!

中国・四国ブロック (in 岡山)



2026年
1月16日開催

「アトツギ甲子園」とは

全国各地の中小企業・小規模事業者の後継予定者が、既存の経営資源を活かした新規事業アイデアを競うピッチイベントです。今年度も6ブロックにて地方大会を実施し、本大会を勝ち抜いたアトツギは、2月27日に東京（大手町）で開催される決勝大会へ出場することができます。

※決勝大会進出者は各ブロックから3名。

中国・四国ブロック 開催概要

- 開催日程 : 2026年1月16日(金)
- 会場 : KURUN HALL
岡山市北区下石井2-10-12 OHKオフィス9F
- プログラム
(予定)
 - 12:30 : 開場
 - 13:00~13:15 : 開会・審査委員紹介
 - 13:15~16:10 : ピッチ①②③ (各5人)
 - 16:10~16:30 : 休憩、スポンサー挨拶
 - 16:30~17:15 : トークセッション
 - 17:15~17:20 : 休憩
 - 17:20~17:40 : 審査発表・総評
 - 17:40~18:00 : 写真撮影
その後、名刺交換会等

■ スポンサー



[GOLD]

株式会社日本創造教育研究所
フリー株式会社

[SUPPORTER]

西日本旅客鉄道株式会社
株式会社中国銀行
NTTドコモビジネス株式会社

※掲載スポンサーは12月12日時点の情報です

申し込みについて

お申し込みは、右記のQRコードよりお願いいたします。 ▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶
※募集定員: 100名 ※オンライン視聴も可能です (要事前申込)
第6回「アトツギ甲子園」公式HP (<https://atotsugi-koshien.go.jp/>)

申込フォームは、決勝大会と地方大会(6ブロック)から選択いただけます。観覧希望大会ごとにお申し込みが必要となりますので、お手数ですがフォームの案内に沿ってお申し込みをお願いいたします。
(例: 決勝大会 現地観覧、地方大会(関東ブロック) オンライン観覧希望の場合は、決勝大会を選択しお申込み、地方大会(関東ブロック)を選択しお申込みを行ってください)

< 本件に関するお問い合わせ > 第6回「アトツギ甲子園」運営事務局 MAIL: info@atotsugi-koshien.go.jp

観覧者募集中

第6回 アトツギ甲子園
中国・四国ブロック
出場者決定!
2026.1.16(金) in KURUN HALL

地方審査員

生方 眞之介氏
株式会社
生方製作所

渡辺 麗斗氏
株式会社
ドーガン・ベータ

脇本 真之介氏
ワキ製薬
株式会社

中国・四国ブロック審査委員

生方 眞之介 氏

株式会社生方製作所 代表取締役社長

生方製作所代表取締役社長。1985年9月18日生まれ。米国ミシガン州立グランドバレー大学マーケティング学部卒。
外資系一般消費財メーカーにてアカウントマネージャーとしての営業経験を経て、2017年に生方製作所へ入社。入社後は製造現場を経験した後、グローバルマーケティング部門を統括。社長就任後、現在位置を第二創業期と定義し「創業100年を迎えても日本で生き残る製造業」の実現に向け、社内改革に着手。創業家3代目として、社員とのコミュニケーションを重視した経営で世界に挑む。『Forbes JAPAN SMALL GIANTS AWARD 2021-2022』グランプリ受賞。2023年6月より現職。

渡辺 麗斗 氏

株式会社ドーガン・ベータ 代表取締役パートナー

1990年、静岡市生まれ。神戸大学でベンチャーファイナンスに出会い、そのダイナミズムと地方での展開の可能性に惹かれ在学中の2012年より「金融の地産地消」を実践するドーガンに参画、後に入社。2017年にベータ・ベンチャーキャピタルをスピンアウトさせパートナーに就任。九州に根ざしたベンチャーキャピタルを運営している。
累計4本 約70億円のファンドを運用し、90社のスタートアップへの投資を実行。イキイキとした資本が循環する風土を地方に作りたい。

脇本 真之介 氏

ワキ製薬株式会社 代表取締役社長

ワキ製薬株式会社代表取締役社長 脇本 真之介 奈良県で140年以上続く製薬メーカーの五代目アトツギ。売上80%減、借金13億円という土俵際に代表就任し、1年で赤字脱却を達成。家庭配置薬しかなかった市場を、ドラッグストア・通信販売・海外へ幅広い市場を開拓し、就任2年目から11年連続増収増益、15年連続黒字を達成。世界で初めて商品化に成功したLUMBROKINASEが主要製品で世界各国で循環器疾患予防に貢献。2017年、京セラ創業者である故・稲盛和夫氏が主宰する盛和塾で関西2000社の代表企業として選出。2021年、Forbesが主催するSmall Giants Award 関西・中国・四国ブロックグランプリ受賞。2022年、Forbes JAPAN「日本を輝かせる100人」に選出。アトツギベンチャーのメンターを長年務める。





第6回「アツギ甲子園」 地方大会 中国・四国ブロック 出場者一覧

※掲載は当日のピッチ登壇順です。
※QRコードは各登壇者の応援ページです。

登壇順 1 愛媛県

城戸 徹



事業者名

丸協重機株式会社

提案テーマ

重機のないクレーン会社
-インフラを支える技術者であり、
子どもの成長も支える“地域の
ヒーロー”というロールモデル-

登壇順 2 香川県

田淵 恭平



事業者名

田淵石材株式会社

提案テーマ

AJI STONE NEXT
-->6代目の挑戦

登壇順 3 広島県

黒川 健



事業者名

長沼商事株式会社

提案テーマ

革新素材のソリューション営業

登壇順 4 岡山県

萩原 一央



事業者名

リヴソル物流株式会社

提案テーマ

追われる日々を、終わらせる
受領書特化型DX

登壇順 5 香川県

嶋野 成優



事業者名

有限会社島野養魚

提案テーマ

父の作ったオリーブハマチで
日本の食文化を覆す

登壇順 6 愛媛県

津幡 菜々子



事業者名

エム・ティ・ディ株式会社

提案テーマ

発酵×美容で家業の技術を未来へ
つなぐ

登壇順 7 山口県

佐藤 史康



事業者名

(株)佐藤商会

提案テーマ

AI伴走型保育施設研修サービス
「こころフ～COCO-REF～」

登壇順 8 香川県

上中 翔太



事業者名

有限会社あづま

提案テーマ

100年後も雛人形が残る未来

登壇順 9 徳島県

山地 正城



事業者名

有限会社タウンファーマシー

提案テーマ

地方の医療を救う三方よしの
医療法人開業支援事業

登壇順 10 岡山県

里見 允二



事業者名

サトミ紙工株式会社

提案テーマ

DAN (段) プロジェクト～段
ボールから生まれる新しい暮らし
と未来～

登壇順 11 広島県

宮崎 慧



事業者名

株式会社ニシキコネクト

提案テーマ

誰もが繋がる新たな居場所
地域交流私営図書館『コトバコ』

登壇順 12 岡山県

則安 瑞希



事業者名

(株)H.I.G.E

提案テーマ

“生地”から届ける焼きたての香り
パン体験キット

登壇順 13 愛媛県

藤井 遼太郎



事業者名

株式会社 藤井組

提案テーマ

空き家を「負の遺産」から新たな
価値を生み出す「資源」へ空き家
再生プロジェクト

登壇順 14 岡山県

川上 善大



事業者名

株式会社カワカミ

提案テーマ

世界へ！未来へ！最新テクノロ
ジーを活用した、地方町工場の
成長戦略！

登壇順 15 岡山県

岡本 幸太郎



事業者名

株式会社丸五

提案テーマ

地下足袋が人生100年時代の
救世主